資料２－２

第 16 回日本ユネスコ国内委員会文化・コミュニケーション小委員会の報告

１．開催日時：令和８年７月 29 日（水）13：00～15：00（オンライン開催）

２．主な議論

（１）最近のユネスコ関係の動き（文化・コミュニケーション分野）

第 224 回ユネスコ執行委員会では、ユネスコ文化と芸術教育に関するフレームワーク、記録遺産の国際デーの提案等について議論されたこと、ユネスコ文化局 ADG にヨルダン出身のナイーフ・フメイディ・アルファーイズ氏が就任したことが報告された。

（２）世界文化遺産・無形文化遺産

世界文化遺産について、第 48 回世界遺産委員会で「飛鳥・藤原の宮都」に係る審議が行われ、世界遺産一覧表への「記載」が決議されたことが報告された。無形文化遺産については、令和８年３月に、「神楽」「温泉文化」の新規提案及び「山・鉾・屋台行事」「風流踊」「伝統建築工匠の技」の拡張提案を実施したこと、また、ユネスコ無形文化遺産保護条約第 11 回締約国会議において、我が国が政府間委員会委員国に選出されたこと及び提案書審査制度の見直しが決定したことが報告された。

無形文化遺産の申請が増加している背景や傾向、審査手続きについて質疑があった。また、文部科学省として登録されている文化財の価値とユネスコとの関係性をどのように国民に周知し、次世代に継続して維持、保全をしていくのかについての質疑も行われ、ユネスコの条約の理念に関する発信の重要性について話し合われた。

（３）世界の記憶

「世界の記憶」暫定一覧表検討ワーキンググループの第１回を６月に開催したこと、今後のスケジュールについて、今年度４回程度ワーキンググループを開催し、2027 年以降の申請サイクルに向けて今年度中に報告書を取りまとめる予定であることが報告された。

（４）ユネスコ創造都市ネットワーク（UCCN）

ユネスコ創造都市ネットワーク会議・創造都市ネットワーク日本国際ネットワーク部会が旭川市及び札幌市で合同開催されたこと、UCCNの更なる活性化に向けた文部科学省による伴走型支援策について報告。国としての目指すべき方向性について質疑があった。

（５）日本のユネスコ加盟 75 周年

ユネスコ加盟 75 周年記念プロジェクトについて、５月 20 日に記念フォーラムを実施したこと、記念動画や記念ポスター・旅行雑誌を制作したこと等について報告があった。また、地域ユネスコ協会より、平和の鐘に関するユネスコ活動について発表があった。

３．配付資料：https://www.mext.go.jp/unesco/002/006/002/004/shiryo/1416641_00015.htm

以　上